

神戸市長 久元 喜造 様

神戸市介護サービス協会
理事長 出上 俊一

< 緊急要望書 >
コロナ禍の長期化と物価高騰による経営圧迫について

日頃より、高齢者介護事業の推進にご尽力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

特に新型コロナウイルス感染症対策においては、市民生活の安心安全を第一に、長期にわたり日夜、対応を続けていただいていることに心より敬意を表しますとともに、手厚い配慮で医療支援の対策を講じていただき重ねて感謝を申し上げます。

コロナ禍の長期化による利用控えなどの収入の減少にあわせ、昨今の物価高騰が介護サービス事業者の経営状況に深刻な影響を及ぼしつつあります。

さらに介護人材の不足にあわせ、限られたマンパワーを確保すべく人件費関連諸費用の高まりが事業経営に大きな影響を及ぼしています。

このままでは、介護サービスの提供に大きな支障を生じかねない事態となりかねず、当協会の総意として下記のとおり緊急要望をいたします。

記

1. 物価高騰への対応

昨今の急激な原油や食材料費等の値上がりに伴う諸物価の価格上昇の傾向は、一向に収まる気配がなく、コロナ禍で疲弊する事業経営にさらに大きくのしかかっています。このままでは、利用者に提供する介護サービスにも大きな影響を及ぼす可能性があるかと危惧しています。

とりわけ光熱水費やガソリン代の高騰は、介護報酬という公定価格下で事業運営を行う私どもにとって大きな出費となり、経営を圧迫する要因となっています。また食材費についても、利用者へ費用を転嫁するにも限界があり、結果的に事業者負担とならざるを得ない状況です。

これら負担が軽減できるよう、厚生労働省および兵庫県に対し積極的な働きかけをお願いするとともに、これが実施されるまでの間、神戸市でも独自の助成策を検討いただきますよう要望いたします。

2. コロナ禍での経営圧迫

コロナによる影響が長期化する中、医療・介護・福祉の各分野において、利用控えを中心とする収入の減少が続いていますが、特に通所系サービス（通所介護・通所リハビリ・短期入所）や居宅介護支援事業者において、経営面で深刻な影響が生じています。

収入の減少が続く一方で、濃厚接触等での自宅待機者へも一定の収入を保障するため、支出を減らしにくい状況にあります。

10月に予定される介護報酬の改定では、介護職員等ベースアップ等支援加算が含まれる見込みですが、新たな介護報酬体系が、物価上昇に吸収されてしまう恐れがあるほか、コロナ禍による経営の圧迫まで考慮されていないものと危惧しています。

今後の改定におきましては、これらを十分組み入れていただきますよう、厚生労働省および兵庫県に対し、積極的な働きかけをお願いするとともに、これが実施されるまでの間、神戸市でも独自の助成策を検討いただきますよう要望いたします。

3. 抗原定性検査キット（厚生労働省薬事承認分）の無償配布

濃厚接触者の自宅待機期間について、介護従事者などのエッセンシャルワーカーは接触後4日目および5日目の抗原定性検査により陰性が確認された場合、5日目からの待機解除が認められています。

介護サービス事業者の多くがこの特例措置を活用していますが、薬事承認（厚生労働省）を受けた検査キットは、「研究用」と称される市販キットより高額かつ入手しにくい状況が続いており、事業者にとって大きな負担となっています。

薬事承認を受けた検査キットの使用を前提とする特例措置は、厚生労働省の通知によるものです。

この通知に責任をもって対応できるよう、検査キットを希望する介護サービス事業者に対し、無償で配布いただきますよう要望いたします。

神戸市介護サービス協会 事務局

担当：釜本、森田

〒651-0086 神戸市中央区磯上通3丁目1-32

こうべ市民福祉交流センター4階 神戸市社会福祉協議会内

電話078-271-5326 FAX 078-271-5366